

## 令和4年度第1回市民参加推進・評価会議 会議要旨

1 日時	令和4年5月11日（水） 午後2時00分～2時30分
2 場所	大和市役所 第5会議室
3 出席者	委員6人（長谷部 美由紀 委員（会長）、青木 俊介 委員、岩本 翠 委員、 近藤 憲之 委員、芝原 重喜 委員、中丸 ちづ子 委員） 事務局3人（政策部長、政策総務課長他1人）
4 傍聴人数	0人
5 議題	（1）議事 ①令和4年度市民参加手続の実施予定について ②その他
6 議事要旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、前回配布した令和4年度市民参加手続の実施予定の変更箇所について説明した。</li> <li>・前回会議の内容をもとにまとめた答申案について意見交換を行った。</li> <li>・今回会議での議論を踏まえ、会長と事務局で答申内容を調整し、委員に確認した後に市長に答申を行うこととした。</li> </ul>
7 会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 1：令和4年度市民参加手続の実施予定に対する総合評価について（答申案）</li> <li>・資料 2：令和4年度市民参加手続の実施予定（修正）</li> <li>・参考資料1：「大和市おひとりさま支援条例」の骨子案について</li> <li>・参考資料2：準防火地域の拡大について</li> </ul>

### 【主な質疑等】

委員：デジタル推進指針の策定にあたって、答申案では「複数の手法で市民参加手続を実施すること」とあるが、専門性が高いので、審議会等を設置してデジタルに関する知識を持つ人たちが審議することが望ましいと考える。審議会等を設置する考えはないか。

事務局：この指針は、行政としての方向性を定めるもので、具体的な事業の検討をするものではないので、審議会等の設置は考えていない。指針の策定後、実際に事業を進めるにあたっては、昨年度採用したデジタル戦略推進アドバイザーなど専門家の知見も取り入れながら検討していく。

委員：おひとりさま支援条例の制定について、骨子案に「市民の役割」や「事業者の役割」の記載があるように、おひとりさまの支援には自治会や社協など、地域との連携が不可欠なので、関係性が分かるように全体像が見える工夫をしてもらいたい。また、大和市は高齢化の進行が遅い方なので、すでに高齢化が進んでいる地域に視察に行くなど、他自治体の先行事例を参考にしてもらいたい。

委員：高齢になればいずれは皆独りぼっちになるときがあると思うが、そのときに

なって急に温かく迎えられるような関係性を作ることは難しいので、地域福祉計画や自殺対策などいろいろなものがつながり合う形を大切にして、連携して進めてもらいたい。

委員：おひとりさまの支援について、条例や施策などで自治体が関わっていくことが必要な社会状況に置かれてきたように感じる。支援にあたっては、個人情報ややり取りが生じるものもあると思うので、市の責務として、守秘義務についての定めも必要ではないかと考える。

事務局：「おひとりさま」と言っても、一人の現状に満足している人もいれば、助けを求めている人もいると思う。今回の条例は、一人で生活している人の中でも他者や社会との関わりを必要としている人に寄り添えるように、その理念を掲げていくために制定するものである。今回皆様からお伺いしたご意見については担当課に共有させていただく。

以上